

平成29年度 第4回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第23号 垂水市教育委員会事務職員の 一斉定時退庁日実施規程の制定 について</p>	<p>垂水市教育委員会事務職員の 一斉定時退庁日実施規程の制定に ついて、教育長の臨時代理により 決定したこと、及びその内容につ いて報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第24号 平成29年度の垂水市学校医の解 嘱及び委嘱について</p>	<p>垂水市学校医の解嘱 及び委嘱について、教 育長の臨時代理により 決定したこと、及びそ の内容について報告す るものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第25号 垂水市スポーツ推進委員の委 嘱について</p>	<p>垂水市スポーツ推進 委員の委嘱について、 教育長の臨時代理に より決定したこと、及 びその内容について報 告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

平成29年度第4回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成29年7月10日（月）</p> <p>午後1時57分</p> <p>↓</p> <p>午後3時42分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

# 会 議 要 旨

## 1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成29年度第4回教育委員会定例会を開会した。

## 2 平成29年度第3回教育委員会定例会会議録の承認

承認

## 3 議 事

報告第23号 垂水市教育委員会事務職員の一斉定時退庁日実施規程の制定について

報告第24号 平成29年度の垂水市学校医の解嘱及び委嘱について

報告第25号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について

## 4 その他

「移動教育委員会」、「地域住民等と教育委員との意見交換会」の実施について

## 5 委員並びに教育長及び課長報告

## 6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 23 号
教育総務課長	垂水市教育委員会事務職員の一斉定時退庁日実施規程の制定について 垂水市教育委員会事務職員の一斉定時退庁日実施規程の制定について、 教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
田原委員	大変いいことだ。かねて勤務時間を超えて御苦労されている。教育委員会が率先されていくのであれば、学校現場も緩和されていくと思うが、中学校の部活時間の勤務時間などどのように進めていくのか教えていただきたい。
学校教育課長	部活動は基本的に週 1 回のノー部活動デーを設定することになっている。通常は日曜日となっているようだが、大会等の関係でどうしても日曜日に休めない場合は、ウィークデーにもってくるように指導している。各学校、小学校、中学校においては、ノー残業デーを設定しており、それぞれの学校で、それぞれの曜日で対応してもらっている。
学校教育課長	報告第 24 号 平成29年度の垂水市学校医の解嘱及び委嘱について 垂水市学校医の解嘱及び委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。 (質疑なし)
社会教育課長	報告第 25 号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
中谷委員	垂水市スポーツ推進委員は、1 年間にどのような活動をなされているのか。経験年数を見たときに、とても長い方がいらっしゃる。これは次世代の人につないでいなくていいのか。中身がどのようなになっているのか。1 年に 1、2 回の会議があるだけではなく、多分、一生懸命されていると思うが、このままずっと改革はされなくていいのか。
社会教育課長	スポーツ推進委員の方々は、垂水市全体の仕事と地区での仕事がある。垂水市全体の仕事で言うと、この前のウォーキングイン猿ヶ城と今度のシーカヤック大会、市民体育祭等、また、保健課と一緒にやる共催事業のときにお手伝い。それに、各地区では、各公民館の組織の中で、スポーツ、体育の推進。地元のスポーツ、体育の推進ということで、特に、1 番大事なのが地区の運動会を担っていらっしゃる。そのほか、地区の公民館講座で実施されるスポーツの講座などの指導を行ってもらっている。年齢に関しては、古い方と新しい方になってもらっている。その中間の方々も、公民館のスポーツ部に入っている。なかなか手がないという

	<p>のもあるが、何名かは中心になって、垂水市のスポーツ振興に熱意を持っていらっしゃる。若手の掘り起こしも常に気を掛けていただいている。古い方と新しい方でうまく絡み合っていていただいている。30代、40代は子育てで等別な部分で多忙である。今のところは、先輩と後輩ということで、端から見て、そういう感じだ。</p>
教育長	<p>中谷委員は引継ぎのことを懸念されているが、課長の説明では、各地区うまくいっているということだ。</p>
4 その他	
教育総務課長	<p>「移動教育委員会」、「地域住民等と教育委員との意見交換会」の実施について</p> <p>「移動教育委員会」、「地域住民等と教育委員との意見交換会」の実施について、8月10日に垂水小学校で移動教育委員会として定例会を開催し、その後、地域住民等と教育委員との意見交換会を実施することについて説明。</p>
教育長	<p>テーマについて、参加される方々には事前に周知がなされるか。</p>
教育総務課長	<p>今日了解をいただければ、PTA会長など参加をされる方々に、テーマを掲げて、ご自分の意見をまとめてきてくださいというお願いの文書を例年送付するようにしている。</p>
田原委員	<p>去年は、先生達との席が一緒になってしまい、意見が出にくかったのではないか。</p>
教育総務課長	<p>去年は、終了後、教育長からも指摘を受けたので、今年は、席を傍聴席の方に設けるよう考えている。</p>
野村委員	<p>会の趣旨も踏まえて、席の配置も配慮してほしい。</p>
教育総務課長	<p>開催する場所の広さの関係も左右するが、今回は配慮できる。</p>
野村委員	<p>時間が足りないような感じで、いつも最後の方になって意見が出てくる。</p>
教育総務課長	<p>去年は野村委員に意見をうまく引き出していただいた。</p>
野村委員	<p>シナリオをもう少し考えて進行ができるようにするといい。ざっくりばらんな意見が出るようだとすごくいいと思う。</p>
教育長	<p>そこのところも配慮する。</p>

5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「平成29年度協和地区集落座談会について」  地区公民館の役を受けて5年目になる。協和公民館の活動の一つの柱に、「協和づくり計画策定委員会」があって、その活動の中心が「集落座談会」だ。活動内容の主眼は、地区民が全員参加して、自分の地区のことを語り合う。「みんなで作ろうあかるい協和を」のスローガンのもと、自助・共助の精神で皆で助け合って、地域を活性化していこうというものだ。今年度も6月下旬1週間の日程で21振興会すべてを網羅するかたちで開催された。私も2つの振興会に助言者として参加した。座談会の内容は、5つのものを中心にするが、その他何でもありのかたちで座談会は展開する。</p> <p>1. 青少年の育成活動 一校区の子どもは校区のみんなで守ろうー  (あいさつ・声掛け・非行防止)</p> <p>① 朝読みの計画 ②夏休み中の子ども会計画</p> <p>2. 元気であるための3箇条  ①バランスのとれた食事 ②趣味(生きがい)を持つ  ③体と頭のトレーニング(家事・仕事)</p> <p>3. だまされるな  ①儲け話は全て詐欺 ②電話詐欺の対応  ③無理な押し売りは110番</p> <p>4. 交通事故防止 一運転手の時の対応、歩行者の時の対応ー</p> <p>5. 防災 一まちを守る・家族を守る・自分を守るー  ①まず命を第一に行動 ②垂水市総合防災マップを繰り返し読む</p> <p>毎回のことだが、地域の方々の大きなエネルギーというものを感じた。そして、気付かないところ、目に見えないところに大事な問題が隠れていることも知ることができた。地域に生活する者として有難い座談会だ。</p>
田原委員	<p>1. 「学校訪問について」  6月15日の垂水小は、校舎内外の清掃が行き届き、また、教室・廊下の設営がしっかりなされ、靴箱やカバン棚等の整理が良くなされているので、校舎は古いが学校全体が明るく清潔感がある。  児童一人一人の習熟度に応じて、算数科の少人数指導を導入するなど、授業改善への取組がなされていることが分かった。先生方の工夫や努力が実るように、学級PTAへの参加や家庭学習の見届け等の保護者の協力をもっとほしいと思った。  同じく6月15日の協和小は、特別支援教室の1年生の天真爛漫な姿に心を打たれるとともに、その子の良さをまっすぐに伸ばしてくださる担任の指導力に感心した。</p>

先生方が全校態勢で学習の規律を低学年からしっかりつけ、子どもの活動を褒め励ましながら、授業の目標達成に向けて努力されている姿を見ることができ大変良かった。

6月28日の松ヶ崎小は、地域を巻き込んだ実践的な防災訓練（避難場所の周知と子どもの引き渡し）は、松ヶ崎には、是非とも必要だと感じた。

一人一人の児童の学力の課題を経年で洗い出し、日々の授業で克服できるようにその指導法を全職員で研修し、手持ちの課題一覧表を作って共有するなど少人数の良さを存分に生かす指導をされているのに感心した。

同じく6月28日の境小は、少人数を特性と捉え、地域や保護者を巻き込んで、地域と一体になった教育を進めておられることに感心した。学力差もあるが、授業改善と長期休みの補充指導などの徹底によって克服しようとしている姿に頭がさがった。

一部児童の休み明けの体調不良や遅刻など、家庭の自覚や協力が不可欠なことも分かった。

## 2. 「わくわくどきどき！夢教室について」

7月6日のわくわくどきどき！夢教室は、児童生徒にとっては、オーケストラの演奏を聴くのは初めてであったのか、開演前からテンションが上がっていた。演奏が始まると喜びいっぱい聴き入っていたが、指揮の体験になると最高潮で、僕が私がやりたいという姿には驚いた。音楽を身近に感じるわくわくどきどき！夢教室そのものとなったと思った。

中谷委員

## 1. 「学校訪問について」

6月15日に垂水小と協和小、6月28日に松ヶ崎小と境小を学校訪問をさせていただいた。どの学校も整理整頓の行き届いた綺麗な環境の中で、のびのびと育ててもらっている事の幸せを感じた。「わかる授業」の展開がますますなされるようお願いしたい。

## 2. 「南日本新聞のひろば欄について」

7月5日付け、南日本新聞のひろば欄に次のような投稿があった。

「母が来た授業参観」

この間、授業参観がありました。ぼくは、せ中をびんどのぼして授業にのぞみました。ぼくは手を積極的にあげました。そして、ほかの人が発表する時は体ごと向けて、そのついでにお母さんがいるか確認しました。やっぱり授業参観は、親がちゃんと見ているかを確かめたくなるものです。でも、授業にも集中しなければなりません。ろうかを見るとお母さんがいて、ぼくに気づくと手をふってくださいました。でも授業中なので、手をふるわけにはいきません。頭をちょっとかいて合図をしました。ぼくは積極的に手をあげました。今回は発表できなくて残念だったけれど、次の授業参観では発表して、がんばっているぼくをお母さんに見てもらいたいです。

お母さん、お仕事を休んで見に来てくれてありがとう。

この文は、微笑ましくて、この親子関係が羨ましくもある。親は親として、子は子として、ちゃんと育てている。垂水の子供達の毎日の日記の中からも、このような文章にたくさん出会うことはあると思う。子供達の思い、気持ちを毎日の学校生活に意欲的につなげていきたいものだ。

葛迫委員

### 3. 「わくわくドキドキ！夢教室について」

7月6日のわくわくドキドキ！夢教室は、大成功だった。

演奏はもちろん素晴らしく、聴かせていただいている者のマナーというか、同じ場所に集まっている者同志が気持ちを同じにして一緒に演奏を楽しめることは、素晴らしいと感じた。

集う者が気持ちを同じにして寄り添って聴けたので、演奏してくださっている方々も笑顔だった。一流の本物をとても楽しく聴かせていただいた素敵な時間だった。ありがとうございました。

### 1. 「学校訪問について」

6月15日の学校訪問は、垂水小は教師の黒板の文字が美しく分かりやすい。また、一人一人の児童の個性や学力などをよく把握しながら、メリハリの効いた授業であった。PTA活動については、今後の普及活動に期待したい。

協和小は教師の熱意が伝わってくる授業であった。児童は褒められることでやる気を起こし、このことが学力向上に繋がると感じた。また、今後歯磨き指導の充実には期待する。

6月28日の学校訪問は、松ヶ崎小は児童数11名の少人数の学校ということで、一人一人に行き届く教育がなされていることで、学力向上には繋がっているのではと思う。しかし、少人数クラスということは、他の児童との意見交換や競争といったものが乏しくなることが考えられる。今後も牛根地区3校合同学習に力を注いでほしい。

### 2. 「和田英作・和田香苗記念絵画コンクール第1回実行委員会について」

6月20日に和田英作・和田香苗記念絵画コンクール第1回実行委員会に出席した。昨年度開催された第3回ワダコンの実績と決算報告。本年度開催される第4回ワダコンの事業計画、開催要項、スケジュール、予算等の計画案が発表。委員の中から、学校関係は夏休み前には頃募集要項をもらえないのか。また、ワダコンスケッチ大会の開催やギャラリートークなどの関連事業の周知を徹底してほしいなどの意見があった。

### 3. 「垂水市図画作品審査会について」

6月27日垂水市図画作品審査会があった。審査会場が例年は大ホールだったが、本年度は視聴覚室での審査になった。

園児から小中学生の作品までを審査したが、昨年比べて小学校高学年の児童や中学生の作品の完成度が上がり、担当教師の頑張りが見受けられた。最後の講評の中で、子供達に今後も1点1点を大事にあきらめないで丁寧に描いてほしい、そのことが観る人に感動を与えることになる」と説明した。

### 4. 「わくわくドキドキ！夢教室について」

本年度は、鹿児島交響楽団によるオーケストラ演奏だったが、子供達がよく知っている音楽を演奏していただいたことで、楽しい夢教室ができたように感じた。指揮者体験コーナーでは、人前でオーケストラを自分の力で動かすことができたこと。その感動した思いを話せた児童は素晴らしい



教育長	<p>経験をしたと思った。</p> <p>1. 「学校訪問について」  前期というか、2校を除いた学校訪問をしていただいた。ありがとうございました。それぞれの学校の取組の良さ、あるいは頑張っている子供達の姿をきちっと見ていただいて、ありがとうございます。まだまだ、それぞれの学校は課題はあるが、非常に前向きに校長以下教頭、職員が頑張っている。またこれからもご指導、応援の方よろしくお願いします。</p> <p>2. 「わくわくドキドキ！夢教室について」  わくわくドキドキ！夢教室は、私もオーケストラを見たのは初めてだったが、弦楽器が入ると、重厚さというか非常に厚みが増す感じがした。非常に素晴らしい。吹奏楽ももちろん素晴らしいが、さらに素晴らしいものに触れることができた。先程から出ているが、垂水の子供達は物怖じしないところに非常に感心したところだ。きっとああいう体験がまた自分を成長させていくと思った。</p> <p>3. 「協和地区集落座談会について」  野村委員から出た「協和地区集落座談会」は、各校区単位であるのか。非常にいいなと思った。こういうものが地域において子どもを育てることにつながっているのかなと思った。</p>
教育長	<p>終原もあるか。</p>
中谷委員	<p>地域ではない。心の教育で夜に集まって、でも地域全体はない。すごい。</p>
野村委員	<p>いろいろな話題が出るから。</p>
中谷委員	<p>何人くらい集まるのか。</p>
野村委員	<p>地区地区で違う。全員出席して、細かいところまで。たとえば、90歳の男性が一人で生活しているが、そんなことまで話題になる。全員で共有する。近くの人が近況を報告したりする。たとえば、緊急の場合は誰々が責任を取ってやる。素晴らしいことだ。</p>
田原委員	<p>それは一堂に会してか。</p>
野村委員	<p>振興会長のお宅であったりする。それぞれの地区で一晩づつ。</p>
社会教育課長	<p>これは、30数年前からあり、地域みんなで見守る態勢を作るということで、協和地区の子供達は協和地区が守るというスローガンの元に始まった。ただ、年に1回集まるのはいいと、今までずっと続いている。</p>
葛迫委員	<p>自分達の子どもの頃は、母親達が集まって1～2ヵ月に1回とかやっていた。</p>

野村委員	その話も出た。女性はいつもその態勢でいる。よくやっていたが、最近 は高齢化して、女性だけの集まりもままならなくなっている。でも、座談 会をやって、気持ちも新たにして、いいことだ。次の機会もという話にな る。
教育長	<p>4. 「青少年育成会議について」</p> <p>青少年育成会議について、ネットポリス代表の方が、「ネット社会の現状 と課題」ということで話をされた。大人が考えている以上に子供達が前に 進んでいる。つまり、親が子どもについて行けない現状がある。子供達が 起こす様々な現状があるが、たとえば、SNSで画像を投稿した結果、い わゆる脱法行為だが、コンビニで食品の上に子どもを乗せて撮影しそれを 投稿、そして親の方に賠償請求がくる。賠償額が3,500万円で、子どもが 払えないので、親の方に当然請求がくる。使い方によってはとんでもない 結果に発展する。スマホは便利だが、一方使い方を誤ると犯罪行為になる。 脱法行為になるし、また、性犯罪につながることになる。そういう現状を 話されて、非常に危機的な現状にあると。まず、親が知ってほしい。スマ ホの適切な使い方というのは、家庭教育の範疇だ。学校で教えるのは、情 報のモラルの教育ということで、そこは意を異にする。スマホをこんな ふうに使いなさいと指導はしない。家庭教育の中でスマホにおける家庭で の取組の時間を設ける。具体的な使い方の指導は家庭教育の範疇である。 自分みたいな指導者は県下でもまだ少ないので、後継者を作っていくのが 大事だと話をされた。ああいうものを今後家庭教育学級とかPTAとかで 学ぶことが、親が危機感を持って、また、ネットワークを張っていくこと が大事なんだと伺った次第だ。</p> <p>先日の雨の対応について、学校教育課長から報告を。</p>
学校教育課長	土曜授業だったが、ちょうど11時頃が強かったので、中学校は部活を中 止し、3校時終了後下校となった。境小は集団下校に切り替え、松ヶ崎小 と協和小は集団下校訓練、いわゆる保護者に直接引き渡すという訓練の日 で、訓練が即実践ということで対応された。それから他の学校については、 保護者に迎えに来てもらったり、保護者に迎えにきてもらえないところは 送っていったりした。また、通常の下校をとったところも最後まで確認が 取ってある。12時頃には、ほぼ全校が無事帰り着いていると連絡を受けて いる。
教育長	いよいよ梅雨の末期ということで、また雨が強くなるかもしれない。そ ういうことで丁寧な対応をしていかないといけないし、台風シーズンにも 向かっていく。非常に心配なところだ。子どもの安心安全の確保に、学校 とも連携しながら努めたい。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	6月13日から7月10日までの主な行事等について報告。 併せて、8月10日までの予定についてお知らせした。
6 閉 会	

